

I 概況と総括

- ・平成9年の法人設立から16年目（日本ネイチャーゲーム協会としては最後）の年度を終了
- ・公益社団法人化に向けての準備開始（組織名変更に伴う各種印刷物準備、新ロゴマークの公募等）
- ・公益社団法人への移行申請。平成25年3月19日公益社団法人として認定、同4月1日登記
- ・新しい取り組みとしてネイチャーゲーム研究集会、シェアリングネイチャーライフ教室等を開催
- ・年度末会員数は前年度から微増

II. 会員数およびネイチャーゲームリーダー養成講座の推移

	平成24年度	平成23年度	平成22年度
年度末会員数	9,617名	9,597名	9,978名
会員更新率	88%	87%	86%
養成講座回数	70回	59回	68回
登録者数/参加者数	1,035名/1,094名	787名/929名	949名/1,064名
21時間講座（参）	202名/15回/13.4名	181名/16回/11.3名	449名/36回/12.4名
14時間講座（参）	360名/27回/13.3名	367名/23回/15.9名	（教員限定） 140名/9回/15.5名
クローズ（参）	131名/9回/14.5名	46名/4回/11.5名	38名/3回/12.6名
課程認定校（参）	401名/19回/21.1名	335名/16回/20.9名	437名/20回/21.8名

III. 都道府県組織

都道府県ネイチャーゲーム協会	44協会	未設立県	鳥取、島根、香川
地域ネイチャーゲームの会	194会		
課程認定校ネイチャーゲーム研究会	11会		

IV. 外部広報/講師派遣等

展示/出展	4件（エコプロダクツ、保育学会、環境教育学会、小学校中学校環境教育学会）
取材	メディア掲載8件
引用承認等	申請件数3件 / 写真貸出7件
ウェブ広報	TOTOくじ助成金を活用して、各種情報発信ページを作成
講師派遣	7回
受託行事	1件（行事7回 横浜市）

V. 平成24年度の重点項目に対する結果

重点項目	結果
1. 指導者の拡大 引き続きリーダー養成講座を通して、シェアリングネイチャー（ネイチャーゲーム）活動の普及の担い手となる指導者の拡大を図る。	都道府県組織の協力を得ながら、全国でリーダー養成講座を開催した結果として、1035名のリーダーを養成することができた。結果、ここ数年減少傾向であった年度末会員数は、前年度に比べて微増となる9617名となった。
2. 新公益法人への移行 平成25年4月1日の登記をめざし、新公益法人への移行申請を行うとともに、シェアリングネイチャーの名称の浸透に着手する。平成24年7月申請予定。	予定どおり7月に申請を行い、11月に確定の連絡をもらった。平成25年4月1日に登記の手続きを行い、無事に登記を完了させた。
3. 指導者制度の見直し 現行の指導者制度の見直しを行い、あわせて「指導員ハンドブック」改訂に着手する。	指導者養成委員会ハンドブック部会で作業を行い、理論編第7版を作成した。平成25年度から使用する。また、複雑でわかりづかった単位制度の改正を行った。
4. ネイチャーゲームの普及拡大 新しい層（対象）へのシェアリングネイチャーの普及の可能性を探る。	今までの主な普及対象「子ども」「親子」ではない層へのアプローチとして、シェアリングネイチャーパパ・ママ教室、情報誌「ネイチャーゲームの森」の記事とリンクしたシェアリングネイチャーライフ教室を開催した。
5. 広報の強化 シェアリングネイチャーの普及拡大を目指した各種広報の充実化を図る。	新しいロゴマーク作成を一般公募で行った。デザイナー、美大生、一般の大人、子どもなど幅広い層からの応募があった。また、団体名変更をPRするパンフレット「活動案内」を作成、頒布した。
6. 教材を通したシェアリングネイチャー活動普及の強化 より手軽にシェアリングネイチャー活動を実践してもらうためのサポートとして、教材の開発、制作、販売を行う。	落ち葉の窓、トランスパレントペーパー、ローズウィンドウペーパー、サンキャッチャー等、屋内でも手軽に自然を感じることもできるグッズ展開を開始した。また、ネイチャーゲームクラブのホームページを全面リニューアルした。

VI.事業

シェアリングネイチャー活動を普及することにより、人が自然を尊重し共生していく社会の実現を目指す事業を実施する。

＜シェアリングネイチャー活動普及のための体験会と情報提供＞

【各種体験会、講習会等の開催】

- 01) 全国一斉ネイチャーゲームの日
2012年10月21日 全国にて開催
- 02) 全国ネイチャーゲーム研究大会in岩手
2012年 6月 1～3日 147名
- 03) 教員免許状更新講習
2012年 8月 1日～3日（東京都） 69名
- 04) ネイチャーゲーム自然教室、ネイチャーゲームセミナーの開催
2012年 8月24～26日 ネイチャーゲーム自然教室in戸隠 （長野県） 14名
2012年 9月30日 シェアリングネイチャーパパ教室 （東京都） 32名
2012年11月11日 シュタイナー×ネイチャーゲーム （東京都） 7名
2012年11月25日 野点×ネイチャーゲーム （東京都） 9名
2012年12月16日 シェアリングネイチャーパパ教室 （東京都） 30名
- 05) アナンダ研修ツアー2012
2012年 8月 28日～9月 4日 （米国 カリフォルニア州） 28名
- 06) 講師派遣 7回
- 07) 体験カード&シール発行 継続して実施
- 08) ネイチャーゲーム事業保険加入 継続して実施
- 09) シェアリングネイチャーワールドワイドへの加盟 継続して実施
- 10) ネイチャーゲームおよび自然体験活動普及促進教材の制作販売
新規製作教材 落ち葉の窓
- 11) 自然体験活動・環境教育教材カタログ2013の制作頒布
- 12) 書籍『シェアリングネイチャー 自然のよろこびをわかちあおう』の制作
2012年 5月31日発行
- 13) 書籍『子どもと自然とネイチャーゲーム』の制作
2012年 5月25日発行
- 14) アクティビティ・教材コース開発認定委員会 3回
- 15) 地方組織開催事業支援 継続して実施
- 16) 地域支援委員会 メーリングリストを活用しての組織情報共有実施
- 17) 組織助成金 継続して実施
- 18) 組織事業助成金を活用しての組織支援 実施せず
- 19) 地方組織連絡会議 事業説明会として実施
- 20) 新ビジョン策定委員会 メール上での開催
- 21) 自然災害対策委員会 メール上での開催

【情報誌やインターネットによる情報発信と広報活動】

- 01) 情報誌『ネイチャーゲームの森』発行（スポーツ振興くじ助成金活用）
6月 9月 12月 3月 4回
- 02) 普及用パンフレット作成（スポーツ振興くじ助成金活用）

- ・団体名変更を周知する活動案内を作成、頒布
- 03) 広報（展示・イベント・取材対応・引用申請対応・写真貸し出し）継続して実施
- 04) ホームページ運営/ホームページ等を活用した情報発信支援
 - ・「ネイチャーゲームニュースレター」ページの作成（情報誌の特集等のweb化）
 - ・「季節のおすすめネイチャーゲーム」ページの作成
 - ・「ネイチャーゲームリーダースタートアップ」ページの作成（同名冊子のweb化）
 - ・「シェアリングネイチャーワールドワイド」ページの作成
 - ・「NATURE GAME BOOKS」ページの作成
 - ・SNSボタンの導入
- 05) 事例研究の募集と公開

＜シェアリングネイチャー活動推進のための指導者養成＞

【指導員養成】

- 01) 本部主催リーダー養成講座 6回 111名
- 02) 組織主催リーダー養成講座 36回（14h21回 21h15回） 451名
- 03) 課程認定校リーダー養成講座 19回 401名
- 04) クローズリーダー養成講座 9回 131名
- 05) インストラクター養成講座
 - 2012年12月1～2日 1回 4名
- 06) コーディネーター養成研修講座 1回 4名
- 07) 講座講師養成講座 2回 10名
- 08) トレーナー養成講座 1回 3名
- 09) ネイチャーゲーム指導員ハンドブック改訂部会 10回
- 10) 指導者養成委員会 4回
- 11) 単位認定 6回
- 12) 登録システムの整備と運営
- 13) 指導者保険加入
- 14) 大学指導者養成担当者向け研修会

【指導員研修】

- 01) アドバンスセミナー
 - 2012年11月23～25日 アクティビティセミナー2 17名
 - 2013年 1月12～14日 森のようちえんセミナー 31名
 - 2013年 2月 9日 自然の多面的な見方を学ぶセミナー 23名
 - 2013年 2月11日 ネイチャーゲーム研究集会2012 42名
- 02) インストラクター研修講座
 - 2013年 2月22～24日 長野会場 26名
 - 2013年 3月 8～10日 岡山会場 17名
- 03) トレーナー研修講座
 - 2012年12月7～9日 （東京都） 26名
- 04) 別冊アクティビティ編セミナー
 - 2012年 4月30日（東京都） 29名
 - 2012年 9月30日（京都府） 中止

- 05) 公認指導者向け情報誌『自然案内人』発行 1回
- 06) 『インストラクターニュースレター』発行 2回
- 07) メーリングリストの運用
 - ①組織のためのメーリングリスト (TNET)
 - ②インストラクターのためのメーリングリスト (INET)
 - ③コーディネーターのためのメーリングリスト (CNET)
 - ④講座講師のためのメーリングリスト (KNET)
 - ⑤トレーナーのためのメーリングリスト (JNET)
- 08) 地方組織開催研修会支援
 - フォローアップセミナー 36会場
 - 自主企画セミナー 4会場
- 09) 表彰審査委員会 1回
- 10) CONE登録を通した指導者の活動支援 継続して実施
- 11) 組織運営のための資料集発行 1回